

安芸高田市の新規就農者がチンゲンサイを出荷開始

【平成30年6月15日掲載】

安芸高田市甲田町の新規就農者 住川渉（すみかわ わたる）さんのチンゲンサイが5月31日に初出荷を迎えました。

住川さんは国の事業を活用してビニールハウス13棟（54a）を導入し、平成30年4月から営農を開始しました。播種機や移植機を導入して、作業の機械化・効率化を積極的に進めています。チンゲンサイはJA経由で市場へ出荷され、県内のスーパーマーケット等で販売されています。

JA広島北部管内では、30代～40代を中心とした13名の生産者がチンゲンサイを栽培しており、グループで共同出荷しています。グループとしての販売額を、現状の0.7億円から平成31年には1.2億円まで増やすことを目標としており、今年度は住川さんを含む3名の新規就農者がチンゲンサイの栽培を始めました。

毎月開催される定例会で、当所はJA広島北部と連携して、技術的な情報提供を中心に、販売戦略の策定支援にも関わっています。

特に新規就農者に対しては、着実に生産と販売ができるよう、巡回指導を中心とした活動を行っており、今後も継続します。



収穫中の“チンゲンサイ”